

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----------|--------------|
| ○事業所名 | みらいくらぶ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 15日 | | 2026年 2月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 (回答者数) | 21 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 15日 | | 2026年 2月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 4月 2日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 十分な広いスペースを確保できており、発達段階に応じた多様なプログラムを行ったり、活動内容に応じて空間を分けて活動できる環境が整っている | ボルタリングやボールプールなどを設置している 個々の発達段階や当日の体調に合わせ、動的(運動)・静的(学習)プログラムを柔軟に組み合わせて提供している | 新しいプログラムを取り入れたり、あそびのルールを工夫しながら、活動の充実を図っていく |
| 2 | 異年齢児と過ごすことにより、互いに刺激を受け合いながら関りの幅が広がっている | ペアで行う活動や、年上の児童が主体になりながら進める活動を取り入れている 同じあそびを提供する中で、相手に合わせた言葉づかいや関わり方を経験できる場を設けている | こどもたちの声を聞きながら、主体的に取り組めるようなプログラムを提供していく 集団プログラムを通し、責任感や達成感、社会性が育つように支援していく |
| 3 | 定期的な会議、毎朝の朝礼に業務改善や支援の振り返りを行っている | 毎月1回の会議の開催 朝礼での振り返り、1日の流れや児童の様子の共有 | 朝礼や月例会議を軸に、全スタッフ間で支援方針の統一と多角的な視点による振り返りを徹底している |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 高学年の児童が増えてきており、来所時間が遅いことから療育の時間が短くなってしまっている | 来所後は学習に取り組むため、利用時間の中で集団プログラムなどに参加する機会が減ってしまっている | 長期休み等に本人の能力に合わせた支援を提供していく 短い時間で取り組めるプログラムを提供していく |
| 2 | 安全管理に関する保護者への認識を深めていきたい | 地震や風災害など防災訓練を行った日に保護者に報告はしているが、具体的な避難方法、また警報時の対応などについてはあまり周知がされていない | 今後は訓練の内容、避難方法やその日の児童の様子について具体的に伝えていく 警報発令時や緊急時の対応について定期的に保護者に伝えていく |
| 3 | 様々な関係機関と連携を取る機会を増やしていきたい | 学校での様子と施設での様子の情報共有を行う機会が少ない 送迎時間の関係で先生方と話す時間が取れていない | 送迎時の接点だけでなく、学校訪問や先生方とのケース会議の機会などを設けてもらう |